

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	盛岡市	代表者名	谷藤 裕明
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	019-626-7514
担当者役職	主査	担当者氏名	栗山 裕介
		連絡先E-mail	*****
住所	020-8530 岩手県盛岡市内丸12-2		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">・2回目に実施する研修の打ち合わせをメインとさせていただいたが、具体的な話をさせていただいたこととで、研修のイメージを共有することができた。併せて、研修のゴールを明確にすることができた。・他自治体の取組事例をわかりやすく紹介いただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月19日	事前打合せ（オンライン）	有	令和5年5月17日	647
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月15日	事前打合せ（オンライン）	10時00分	10時45分	
				活動時間（分）	45
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・ワークショップ実施に向け要領を作成するため、対象者や実施内容の詳細を検討する必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・対象者や研修内容の確定。 ・研修のゴール設定。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・研修内容の具体的なアドバイス ・研修によって目指す成果の明確化 ・他自治体の取組内容の情報共有	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・研修要領を作成するために必要な情報を得ることができた。 ・円滑な研修の実施に向け、講師と研修の目指ゴールやイメージを共有することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本日支援を受けた内容を元に、今後研修開始までに要領を作成するため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 2回目支援のワークショップ後に受講者アンケートを実施する予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	研修要領に基づき、ワークショップを実施し、職員のデータ活用スキルやリテラシー向上を図る。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

